

2025 年 5 月 16 日
商 工 中 金

包装資材の印刷や製袋加工を手掛ける株式会社ヒロテックを、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（和歌山支店）は、株式会社ヒロテック（本社：和歌山県岩出市、代表者：竹中 俊行）に対し、新本社工場建設資金として1億5,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、食用品や日用雑貨の包装資材の印刷・製袋加工等を手掛けています。米ぬか等の植物由来で再生可能なバイオマスインキを使用するなど、環境負荷低減に取り組んでいます。

今回同社は、調達した資金を活用し、既存工場と倉庫の集約を目的とした新本社工場の建設を計画。ダイバーシティ経営の推進や新拠点を活用した輸送の効率化等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社ヒロテックの概要】

所 在 地	和歌山県岩出市山崎 238-1
代 表 者	竹中 俊行
業 種	包装資材の印刷、製袋加工・販売
資 本 金	1,000 万円
従 業 員 数	27 名（2025 年 3 月時点）
創 業	1985 年 1 月 26 日



【新本社事務所】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

